CASE 04 技術・人文知識・国際業務

長谷金属株式会社

企業概要

代表者	代表取締役 長谷 佳幸
所在地	滋賀県愛知郡愛荘町島川115番地
電話番号	0749-42-6858
設立年	1964年
事業内容	板金加工製品、溶接・塗装製品、機械加工製品の製造、販売
資本金	2,500万円
従業員数	45名（うち外国人20名）
URL	http://hasemetal.com/

約10年前、溶接や塗装工程の人員確保に苦労していたところ、知人から外国人実習生を採用してみてはと提案されました。知人の会社がベトナム人を採用していた関係もあり、観光ついでという軽い気持ちでベトナムを訪問し、実習生のための教育施設である日本語学校を見学させてもらいました。彼らからひしひしと伝わってくる働く意欲や日本へ行きたいという熱意に感動し、結果、大卒のエンジニア2名と実習生3名を採用することになりました。彼らは真面目で一生懸命勤めてくれ、それ以降、毎年2~3人を採用しています。エンジニアは語学も達者で、会社の考え方や方向性等を実習生に伝えてくれるので、エンジニアと実習生という組みあわせでの採用はとてもよかったと思います。

採用方法・面接のポイント

面接では、働く意欲を重視します。なぜ日本で働きたいのか、なぜ弊社で働きたいのか、将来、何をやりたいのかを聞きますが、頑張って日本語で答えようとしてくれる人は好感がもてます。

また、もうひとつ重視するのが協調性です。住まいが共同生活なので、今のベトナム人社員とうまくやっていけそうか、先輩の言うことを聞けそうか、日本の習慣を守れそうかといったところを見ます。能力があっても人間関係で浮いてしまうと長続きしません。真面目に頑張ってくれれば、技術は身に付いていくものだと考えています。

外国人材採用にあたり準備したこと・サポート体制

アパートや一軒家を会社で借り上げ、1人1部屋で住んでもらっています。採用した当初は、入社前に家電一式を揃え、入居後はゴミの出し方等をレクチャーしていましたが、今は先輩のベトナム人社員がいろいろと教えてくれています。地域で日本語教室があるため、その参加費用を会社で負担しており、日本語検定で資格をとった場合はボーナスを上乗せし、意欲づけにしています。その他プライベートでは、皆でBBQをしたりお花見に行くなどして、交流を深めています。

当初から家族を迎えたつもりで日々接していますが、毎年、私の妻のために母の日の花とプレゼントを持ってきてくれるその優しさを嬉しく思います。

外国人材を採用したことで得られた変化・メリット

日本人だけだと言葉数が少なくなりがちですが、彼らがいることで会話が増え、笑顔も生まれて社内の雰囲気が明るくなりました。ベトナム人社員で作ったサッカーチームで、会社の名前を冠した杯を実施してくれ、日本人社員も一緒にプレーする等、連携していいチームプレイになっていると感じます。

日本人同士だと、「仕事は見て覚えろ」という感覚がありますが、ベトナム人社員は、自分達が苦労しているので教え方も丁寧で、新入社員がすぐ仕事を覚えてくれるようになりました。彼らの活躍に日本人社員も良い刺激を受けています。

現在、社員の半分はベトナム人で、日本人とベトナム人の双方の活躍がなければ会社は存続しないといっても過言ではありません。外国人材の採用にコストダウンという意識は全くなく、会社の発展のために大いに活躍して欲しいと思っています。
今後は、ベトナム人の社員からも社を引っ張っていってくれる部課長が出てきてほしいです。また、将来的に海外で事業展開をすることがあれば、彼らのパワーを借り、共に挑戦、成長していきたいと考えています。

外国人労働者の思い INTERVIEW

私にとって日本は完璧な場所です

グエン ヴァンガン

出身国	ベトナム
入社年	2020年2月
職務内容	レーザー加工機のCAD/CAM プログラム作成を担当
在留資格	技術・人文知識・国際交流

日本に来たきっかけ・来日までにした準備

ベトナムの工業大学を卒業後、約1年間、日本語を勉強し来日しました。希望の収入を得るため、また、日本語をもっと勉強したいと思い、来日しました。

日本（滋賀）で働く魅力について

電車など交通機関が発達していて、日本中どこにでも行けるのが魅力です。休日は他府県の友達と会い、様々な場所へ旅行するなど、日本での生活を楽しんでいます。

心がけていること

社内のムードメーカーとなり、日本人とベトナム人の橋渡し役になるよう努めています。

困り事や、その克服方法

日本に来た当初は言語や文化の違いがあり、苦労しましたが、先輩から丁寧に指導いただいたおかげで、1年経過した頃から、仕事も生活も順調に進むようになりました。悩み事はベトナム人の同僚や上司（部長）に相談しています。

日本に来てからのチャレンジ・これからの目標等

今では日本語がかなり上達し、難しいプログラムでも自分一人で対応できるようになりました。次の目標はCNC加工機のプログラム作成をマスターすることと、日々、日本語勉強を頑張り、日本語検定2級を取得することです。将来的には、長谷金属の技術部長か、ベトナム支店が開設された場合は、その支店長になりたいと思っています。

職場の社員・上司より INTERVIEW

外国人材は貴重な戦力 彼らなしでは会社は存続しません

生産統括部 大西 俊之 部長

一緒に働く上で心がけていること

生まれも育ちも異なるため、「当たり前」はなく、何事も丁寧な説明を心がけています。
入社後1年間は、毎日15分のミーティングを実施し、仕事の進捗だけでなく不安に思うことなどをヒアリングし、相談に乗りました。

会社にとってどんな人ですか

彼は日本人社員とも積極的に交流し、社内の雰囲気を明るくしてくれています。
エンジニアの彼には、ベトナムにいる際から週に一度、図面展開の宿題をだして指導をはじめ、入社後はチェック体制を整えたうえでどんどん実践に挑戦してもらいました。弊社には生産工程や加工設備が多くあるため、ハングリー精神旺盛で何事にも積極的に挑戦する彼のような人材は大歓迎です。